

オンリーワン



バリアフリー
ペーパー

春月号

平成 25年4月23日発行

次回7月発行

この機関紙は、西条市障害者相談支援センターがパソコン就労をめざす障がい当事者グループ「オンリーワン」に編集を委託し、協同で作成したものです。

「いつやるか？今でしょ！」最近あちらこちらで耳にする東進ハイスクールの林先生の言葉に相田みつをさんの「あとでやろうと思ってもやれた試しがない やるならばいつでもいまだ」という言葉を思い出します。日々の生活の中で「あとでやろう」と感じることは多くあり、それらに追われて漠然と忙しいような気になったり、「やらなければ！」としんどくなってみたりしているような気がします。4月から年度も変わり気持ちを新たに、「やること・やりたいことリスト」を作ってみよう、そしてその中で上手く優先順位をつけてやり残しが無いようになりたいなあと感じています。（支援センター津島）

障害者パソコン講座

西条市障害者相談支援センターでは、障害のある方を対象にパソコン講座を開催します。パソコンの技術を得るだけでなく、参加された方同士の交流も目的としており、例年皆さん和やかな雰囲気の中で講座を楽しまれています。興味のある方は、一緒に勉強してみませんか。

パソコン講座の参加者を募集します！



日程：平成 25年 6月～12月の金曜日（全 20回）

6月	7日	14日	21日	
7月	5日	12日	19日	26日
8月	9日	23日		
9月	6日	13日	20日	27日
10月	4日	18日	25日	
11月	8日	22日		
12月	6日	13日		

時間：13時30分～15時30分

内容：ワードの基本操作、カレンダー・名刺づくりなど

費用：無料（テキスト代等として1000円程度の実費が必要です）

対象者：障害のある方で、パソコンを学びたい方10名程度
（申し込み多数の場合は抽選となります）

場所：西条市中央公民館1階 情報通信室（西条市周布404-1）

講師：西条市障がい当事者グループ オンリーワン

☆☆☆ お問い合わせ・お申し込み先 ☆☆☆

- ◆西条市障害者相談支援センター
- ◇社会福祉法人 西条市社会福祉協議会
- ◆〒799-1371 西条市周布606-1 西条市東予総合福祉センター内
- ◇電話 0898-64-2600(代) FAX 0898-64-3920 担当：津島・武市

当事者の奮闘記 未来への足跡(あしあと)

パーソナルアシスタント青空に集う元気な子ども達に会ってきました！

昨年オープンの東予こどもデイ青空(西条市大町)に次いで“東予こどもデイ青空壬生川”が3月に新たにオープンしたので取材に行ってきました！

放課後等児童デイサービス・児童発達支援事業とは？

■障がいのある子どもさんに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において生活能力向上のための訓練等を継続的に提供したり、自立を促進するとともに放課後等の居場所づくりを推進する事業です。



【対象者】

0歳から17歳までの児童

【受け入れ時間】

平日 10:00～18:00 土日祝日 10:00～17:00

(春季、夏季、冬季の長期休暇時には変更あり)

【送迎】

送迎あり。対応可能。

【サポート内容】

療育、作業活動、園芸、パソコン、ムーブメントなど諸活動をおこない、ご家庭、学校、医療機関などとの連携のもと、個別支援計画を作成し、より充実した生活を地域でおくれるようサポートしてまいります。



もともとは、松山市で居宅介護や福祉タクシーなどの事業もおこなっていたパーソナルアシスタント青空さんが大町に新しく放課後等児童デイサービスを開所したことが始まりでした。利用希望が多く、壬生川にも開所することになったそうです。

まず中に入って感じたのは、真新しい部屋が子ども達の過ごしやすいように設計されていることでした。すでに7～8名の子どもさんが電車の玩具で遊んでいました。びっくりしたのは、インターネットのアニメ動画を見たり、『キッズゲーム』に挑戦している子どもさんがいたことでした。

子ども達が思い思いの遊びに飽きると、「抱っこして」と職員に甘えたりする姿も見られ、「自分を理解してくれて、受け入れてくれる温かな環境がある・・・」青空には遊びだけでなく、人との関わりの中で得られる温もりや安心感があるんだなあと思いました。

安心して子どもを預けられることができ、親子さんもどんなに助かっている事が、また職員の方にも本当に頭の下がる思いです。(梅野)

●東予こどもデイ青空 壬生川
住所 西条市周布201番地2
電話 0898-35-4180

◎東予こどもデイ青空
住所 西条市大町264-1 1F
電話 0897-58-3087



ぶらっと (地域の情報)

in クワトロスタジオーニ



イタリアンレストラン

「クワトロスタジオーニ」(Ristorante Quattro Stagioni) へ行ってきました。

※「クワトロスタジオーニ」とは“四季のレストラン”という意味だそうです。



オーナーシェフは昭和44年の西条市神戸生まれ。学校を卒業して東京でイタリア料理の修行をし、丹原のレストランでシェフとして腕を振るっていました。勤め先が閉店したのを機に、自分のお店を開業したのが8年前だそうです。



【おむつ交換台があります】



【←外観とスロープ】

【洗面台】

お店の外観は黒が基調。田園風景の中にモダンな建物がたたずんでいます。入り口は車椅子やベビーカーが出入りし易いスロープがあり、トイレにはおむつ替え台が設置されています。

店内は窓が大きく外の光をたくさん取り込んでいるため、とても明るい雰囲気です。テーブル席はゆったりと配置されており、車椅子でも比較的往来がしやすいと思われます。

車椅子の人や子ども連れにも優しい店内設計で、本格イタリアンが楽しめるのは嬉しいことです。シェフの細やかで優しい心使いがうかがえました。



今回、私は日替わりランチ(パスタとピザ)を注文しました。旬の食材を使っており大変美味しかったです。

今度はリゾットオムライスか?やはりパスタにしようかと心が踊ります。本物の味をリーズナブルに頂くことができるお店でした。(柳瀬)



所在地: 西条市喜多台 553-3

電話: 0898-64-1581

(予約したほうが良い)

営業時間: 11:30~15:30

17:30~21:30

休日: 火曜日 (臨時休業あり)



のぶちゃんのページ



「山里の桜」

3月31日に朝倉ダム湖畔に花見に行きました。
満開のソメイヨシノと八重桜が咲き誇っていました。

撮影：のぶちゃん

つばやきの窓 by HIRO

3月に、あるドラマで、心肝移植を待つ重症の患者さんが「スターティングノート」をつけるシーンがありました。「スターティングノート」には自分がこれからしたいことや目標を書いていて、それを生きる希望として、今の患者さんにできることを精いっぱい、病気にうち勝とうとしていました。そのような生き方はとても素敵だと感じました。

私は、障がいを持っていて健常者と同じようにできないことが多く、他人と比べて不満を持つことが時々あります。しかし、そのようなことに悩んで生活するのはもったいないと思われました。「スターティングノート」を書いて、自分のやっていることを誇れるようになりたいと思いました。



← パソコンで描いたイラスト
美奈子さん作

投稿コーナー「たしっぽ」

さんしゅゆ

山菜蕨の 小さな黄の花

鈴なりに 咲きて明るき 庭はもう春

美奈子詠

※春先に山菜蕨(さんしゅゆ)の木が小さな蕾を一杯つけて開花すると黄色の花が木全体に鈴生りに咲いて輝き、ぱっと明るく感じました。

編集後記

言霊(ことだま)とは、言葉に宿っていると信じられている不思議な力のことで。挨拶や日常会話、それぞれの言葉には陰陽があり、人の言葉は十人十色。以前は、心無い人の言動に傷つき悲しい涙をたくさん流していました。そんな時、親友からもらった言葉『この世は魂磨きの場』これを聞いてから、なにがあっても元気を増やすことが出来ています。言霊を大切にしながら、大好きな花アンジェリケのように愛らしく凛と生きていきたいです。

そんな私からみなさんへの言葉『“(* 〇 *) ”』いつもオンリーワンを読んでくれて、ありがとう♪春夏秋冬みんなの心が温かくなって、心からの笑顔で、自分らしくいろいろ顔晴れ(がんばれ)ますように☆』(☆アンジェリケ☆)

【お知らせ】これまで年間6回発行してきたオンリーワンですが、平成25年度からは、春・夏・秋・冬号の年4回の発行となりました。今後も変わらず読んでいただけたら嬉しく思います。



発行：西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）

編集：オンリーワン編集委員

〒799-1371 西条市周布 606 番地 1 西条市東予総合福祉センター内

TEL：0898-64-2600 (代) FAX：0898-64-3920 E-mail：soudan-saijo@galaxy.ocn.ne.jp